

第三主日礼拝

午前 10:30-11:30
(YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 71 篇 5-6 節 (旧約 1004)

賛 美 心熱くして (教会福音 56)

交 読 詩篇 124 篇 1-8 節 (旧約 1071)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 使徒の働き 9 章 10-19 節 (新約 250)

説 教 『彼は祈っています』

松井 元始 牧師

聖 餐 式 しみも咎も (教会福音 261)

応答のとき

賛 美 私を祝して (教会福音 463)

感謝祈禱

頌 栄 父・子・聖霊の (教会福音 271)

祝 禱

後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉	〈奏楽〉	〈受付〉	〈聖書朗読〉	〈感謝祈禱〉
松井師	牧子師		司会者	

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けしています。

週報は、メール・LINE 連絡網でもお届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会

牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>E-mail: immanuelojichurch@gmail.com

郵便振込: 記号 00180-8 番号 11785

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『彼は祈っています』 (使徒の働き 9 章 10-19 節) 2023.10.15.

<はじめに> 天からの光とイエスの声を受けたサウロは、目が見えず、飲食もせずに 3 日間を過ごします。彼の許に、主は一人の弟子アナニアを遣わそうとされます。アナニアは戸惑いを正直に主に告げつつも、最終的には赴き、サウロを新たに立て上げる役割を果たします。

I 幻の中で(10-16)

① 弟子アナニア

彼はエルサレムからの逃避者ではなく、元々ダマスコに住み、律法に従う敬虔な人で、そこに住むすべてのユダヤ人に評判の良い人(22:12)でした。サウロがエルサレムで迫害し、ダマスコにまで迫害の手を伸ばそうとしていることも、彼は聞いていました(13-14)。

② 主からの幻(10-16)

そのアナニアに主は幻の中でサウロを訪ねるよう命じます。彼もこの訪問を幻で見たからと(11-12)。主からの幻は漠然としたものではありません。必要なことを具体的に示し(11)、相手にも働き掛け(12)、主が何をしようとしているのかを明らかにされています(15-16)。

③ 幻に向き合う

アナニアは主の命令への戸惑いを正直に主に告げています。主はそれにどう返されたでしょう。彼が納得できる説明や説得があったでしょうか。主は、「彼は祈っています」(11)と相手の状況を伝え、主の計画とその人が果たすべき役割(15-16)を明白に示されます。

II 祈るところに働く

① 祈る人

主の敵が主に祈る姿こそ、サウロの心の変化を表す絵です。彼は何を祈ったのでしょうか。主は彼を、ご自身の名を運ぶ器として選び、御名のために苦しむことも示すと言われます。主はご自分を信じ祈る者に、主とともに重荷・痛みも担う覚悟も問われます。

② 主は示される

主イエスは、サウロ・アナニアそれぞれに幻の中で語られます。幻は絵(ヴィジョン)です。示される御方がどなたかをはっきりさせ、ご計画とその人が為すべき役割を告げられます。祈り、主と語らう者に、主ははっきりと示されます。主との交わりは相互通行です。

③ 同じ主が一つのことを(17-19)

サウロとアナニア双方に見せられた幻は一つです。それに従って動き、手を置いて祈るとき、それぞれに示されたことが主によって結び合わされ、主の御計画と導きを確認できます。そしてお互いが同じ主に仕える神の家族・兄弟姉妹であることを実感できます。

<おわりに> 自分の問題課題・必要を神に訴えて解決していただくという面に、祈りの焦点が注がれやすいのではないのでしょうか。むしろ祈りは神との交わり・語らいで、神が私に与えられる役割を示される機会です。この交わりの世界へと進み行きましょう。(H.M.)